



春里中学校

学校だより 令和8年度 5月号

TEL: 048-683-3458

FAX: 048-683-8979

学校教育目標
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

「自分で考え、行動する」

校長 うえだ やすまさ
上田 泰正

新緑が目眩しい季節となり、新年度が始まって早1ヶ月が立ちました。生徒たちは、新しい学級や友達、先生との出会いなど、新たな環境での生活や学習などが本格的にはじまり、授業や部活動など、様々な場面で頑張っている姿を多く見かけます。学習や学校行事、部活動にと積極的に取り組み「夢中になって頑張れるもの」を見つけてほしいと願っております。

さて、「自分で考え、行動する」は、多くの企業が新入社員に期待するメッセージのひとつだそうです。生徒の皆さんは、これまでに自分で考え、判断し、行動した経験はどれくらいあるでしょうか。

下の話は私の先輩から聞いたある新入社員の話ですが、皆さんはどのように感じますか。

配属先に出社した初日、新入社員Aさんは、元気よく「おはようございます！」と挨拶しましたが、先輩たちは返事をしてくれませんでした。数日後、「おはようございます」だけではなく、「いってらっしゃい」「お帰りなさい」などの声掛けが少ない職場なのだと思うようになりました。たいていの人なら、「誰も返事をしてくれず、むなしいからやめよう」と思い、自分も挨拶をやめてしまいます。ところが、Aさんは、来る日も来る日も、「おはようございます」「お疲れ様でした」と元気に声を掛け続けました。「挨拶は社会人として基本の行為だ」と自分で考えたからです。

しばらくすると、先輩の一人が挨拶を返してくれました。その内徐々に返事してくれる人が増えていきました。数ヶ月後、Aさんの職場では、全員が挨拶を交し合うように変わったと言います。

集団の雰囲気を読んで輪に溶け込むことや、周囲の意見を聞き入れることはとても大切です。しかし、社会の中で生きている私たちだからこそ、自分で考え、判断して行動することが極めて重要なのだと思います。感情のおもむくままに行動すれば、ただのわがままで自己中心的な振る舞いになります。目的や相手、場などを考え、自分は何を、どのように行動すればよいのかを考えてください。

毎日の学校生活には、たくさんの考える機会があります。家庭でもそうです。

例えば、保健に係る検診の際に、皆さんはとても静かに待機できています。思い出してください。「先生に叱られるから」静かにしたのですか。それとも「検診のさまたげになるから」静かにしたのですか。皆さんのことですから後者であろうと思います。

今月は、中間テストが控えています。また、市学校総合体育大会も始まります。今のあなたは何をすべきですか。日常の生活も含めて、その時、その場で何をすべきかをしっかり自分で考え、判断し、行動してください。